

金属屋根「優雅やね」

Metal Roof Tile “YUGAYANE”

1. はじめに

新築向け住宅用屋根には瓦、化粧スレートなどの窯業系屋根が多く使用されている。一方、リフォーム向け住宅用屋根には既存建物への重量負担を減らすため、軽量の金属系屋根が多く使用されている。金属系屋根は単調なデザインの製品が多く、ユーザーからは安価な製品とイメージされることが多かった。ここでは段差が大きく、立体的な形状で重厚感のあるデザインの平瓦風住宅用屋根材「優雅やね」を紹介する。

2. 特長

2.1 「優雅やね」の特長

本製品は、カラー鋼板をプレス成形加工した住宅用金属屋根である（図1）。素材に天然石、瓦の色調をスパッタ塗装で実現した「JFE カラー F20GL きらめき」を使用、表面にはプレス加工でリブをつけ、彫りの深い縦ラインが平瓦をイメージさせる仕上がりとなっている（写真1）。一方機

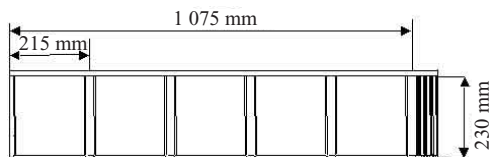


図1 「優雅やね」の形状図
Fig.1 Shape of “YUGAYANE”



写真1 「優雅やね」の外観
Photo 1 Metal roof tile “YUGAYANE”



写真2 断熱材
Photo 2 Thermal insulation

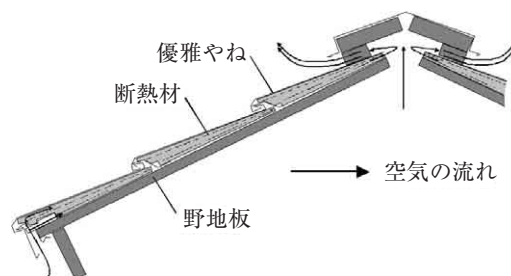


図2 断面図
Fig.2 Section view

能面では、従来の屋根用断熱材はボード状で通気機能を持っていない製品が一般的だったが、上下に通気スペースを確保した断熱材により（写真2）、野地板と屋根材の空気層を換気できる機能を付与している（図2）。

2.2 リフォームへの対応

リフォームの工法は、既存屋根を撤去してから葺き替える葺き替え工法と、既存屋根を撤去せずに上から重ね葺き

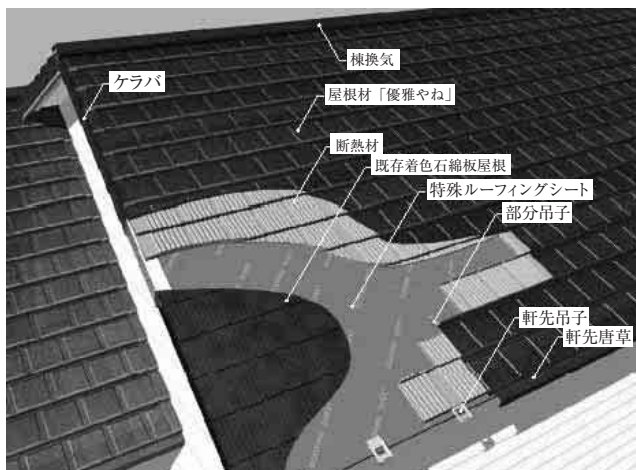


図3 カット図
Fig.3 Cutaway view

するカバー工法がある。本製品は、主にスレート改修向けのカバー工法への適用を提案している（図3）。

カバー工法による施工は次の手順で行う。

- (1) 既存スレート屋根にアスファルトルーフィング貼
- (2) 新規屋根材をビスで既存野地板に固定
- (3) 屋根周辺部の仕上げ

(1)、(2)の施工は、新築とカバー工法で大差はないが、(3)の屋根周辺部の施工は、既存屋根の上に新規屋根材を重ね葺きするため、既存屋根より屋根面が高くなり、既存雨樋に雨水がうまく流れこまないことがある。「優雅やね」では、屋根葺き始め位置を55mm後退させて施工が可能な軒先スターターを用意し、雨樋位置の変更なくカバー工法で施工が可能となっている。また、屋根周辺部に使用する他の部材もカバー工法を前提としたサイズを標準で設定している。

3. おわりに

金属屋根は、現場で加工して納める部位が多く、技能を持った板金店が施工することが一般的だった。「優雅やね」は、金属屋根業者に関らず、多能工的に扱える製品を目指した。

主なポイントを以下に示す。

- (1) 汎用的な施工技術で対応可能
- (2) カバー工法に適した部品を標準で用意

以上より、「優雅やね」は瓦業者の技能でも施工可能な製品設計を実現した。

〈問い合わせ先〉

JFE 鋼板 住宅建材部

TEL : 03-5255-9935 FAX : 03-5255-9938